



能面々々

「きょうの能楽に寄りそう面打」

第23回企画展



入場無料

令和3年 11月1日(月)～12月18日(土)

月・火・木～土曜日 10時～16時30分

水曜日 13時～16時30分

(入館受付は16時まで)

※日曜・祝日は休館

但し、11月7日(日)28日(日)は開館(10時～16時30分[入館受付は16時まで])


●場所 京都産業大学ギャラリー
京都市下京区中堂寺命婦町1-10
京都産業大学壬生校地
むすびわざ館2階

主催 京都産業大学ギャラリー

協力 妙法院門跡

※新型コロナウイルス感染症拡大状況等により、

展覧会及び講演会の中止または延期変更する場合があります。

むすんで、うみだす。
 京都産業大学

能面々々

「きよらの能楽に寄りそう面打」

能楽は室町時代より600年以上上演し受け継がれてきた日本の伝統芸能であり、現在ユネスコの無形文化遺産に登録され、国内外から高く評価をされています。

京都と能楽の関わりは深く、室町時代に観阿弥・世阿弥親子が京都の今熊野で演じたものが3代將軍・足利義満に認められ、以後絶大な支援を受け発展を遂げました。京都には能楽の曲目の舞台となった場所や関連する史跡など、多くのゆかりの地があります。

能楽は、舞台上で演じる能楽師はもちろん、面打や装束・扇・楽器の制作者など、多くの人々に支えられながら、神社仏閣や武家・公家だけでなく、庶民にも親しまれてきました。本展では、能楽の上演に不可欠な面に着目し、京都を中心に活躍している面打が手掛けた面とともに、京都が舞台となった能の曲目について紹介します。

出展者 (五十音順、敬称略)

岩崎 たつお
 宇高 景子
 大月 光勲
 小嶋 梨辺華
 北沢 一念
 後藤 祐自
 小松谷 宏春
 坂口 多恵
 佐々木 光夫
 中村 光江
 藤原 千沙
 見市 泰男

講演会

●講演会①

テーマ「能面は不思議」

舞台上で表情が変化する不思議な能面を、面打の立場から解き明かします。

講師：大月 光勲 氏 (面打)

日時：11月7日 (日) 14:00~15:30

●講演会②

テーマ「^{うっ}靈力を遷す」

古くから伝わる能面制作の技法と精神について語ります。

講師：見市 泰男 氏 (面打)

日時：11月20日 (土) 14:00~15:30

●講演会③

テーマ「表裏一体 演者からみる能面」

「シテ方と面の関係」をテーマに、上演前の準備や舞台上での使用方法を紹介します。

講師：林 宗一郎 氏 (シテ方観世流能楽師)

日時：12月11日 (土) 14:00~15:30

①~③とも申し込み要

※詳細はホームページをご確認ください。

<https://www.kyoto-su.ac.jp/facilities/musubiwaza/>

※新型コロナウイルス感染症拡大状況等により、

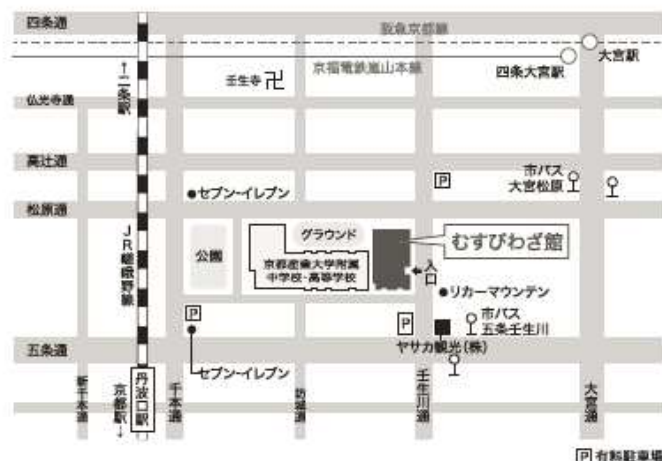
講演会の中止または延期変更する場合があります。

むすびわざ館へのアクセス

・丹波口(JR)…徒歩約7分 ・大宮(阪急)…徒歩約11分

・四条大宮(京福)…徒歩約11分

※駐車場・駐輪場はございませんので、ご来館の際は公共交通機関をご利用ください。



問合せ先

京都産業大学むすびわざ館事務室
 TEL 075-277-0254 FAX 075-277-1699

WEBページ

<http://www.kyoto-su.ac.jp/facilities/musubiwaza/gallery/index.html>

次回予告：第24回企画展「京都・大原調査成果展」(仮)
 令和4年2月14日(月)~3月31日(木)